

木造軸組外壁

EXH-K15-PS付加

アイジー工業 金属サイディング仕様

30分防火構造 国土交通大臣認定 PC030BE-3826 (1)
PC030BE-3826 (3)

防火構造の施工仕様書

[令和8年8月版]

まっすぐに、建物を包むチカラ。



YOSHINO
安全で快適な住空間を創る **吉野石膏**

はじめに

この施工仕様書は、表紙に記載してある防火構造認定の条件を満足するための推奨施工方法を示したものです。
本書を基に現場毎の施工要領書および施工計画書の作成をお願いいたします。
尚、施主や設計者の指定による特記仕様等で本書に記載が無い場合は、防火構造認定書別添にて認定条件の範囲であることを確認の上、施工要領書および施工計画書に反映させてください。

適切な施工管理体制にて施工をしていただくために

特定共同住宅の住戸等と住戸等の界壁を乾式耐火壁にて施工する場合は、“特例基準「消防法施行令第29条の4」”に基づいた総務省令第40号、その細目を定めた消防予第188号および500号通知の内容を遵守する義務があります。その500号通知には乾式耐火壁の施工条件として、「適切な施工管理体制が整備されている場合」と明記されております。

「適切な施工管理体制が整備されている場合」とは、

1 乾式壁の施工方法

住戸等と住戸等との間の防火区画を形成する壁のうち乾式のもの（以下「乾式壁」という。）の施工方法が、当該乾式壁の製造者により作成された施工仕様書等により明確にされており、かつ、その施工実施者に周知されていること。

2 施工現場における指導・監督等

乾式壁の施工に係る現場責任者に当該乾式壁の施工に関し十分な技能を有する者（乾式壁の製造者の実施する技術研修を修了した者等）が選任されており、かつ、当該現場責任者により施工実施者に対して乾式壁の施工に係る現場での指導・監督等が行われていること。

3 施工状況の確認等

乾式壁の施工の適正な実施について、自主検査等により確認が行われ、かつ、その結果が保存されていること。

4 その他

ア 施工管理体制の整備状況については、当該特定共同住宅等の施工全般に係る責任者の作成する施工管理規程等により確認すること。

イ 乾式の壁と床、はり等の躯体との接合部の耐火処理については、特に徹底した施工管理を行うこと。

上記は、施工現場で乾式戸境壁の耐火性能を確保するために施工管理体制を整備することを目的としております。この考え方は戸境壁以外の外壁防火壁を施工する際にもあてはまることから、適切な施工管理体制の整備をお願いします。

目次

①総則

- 1-1 適用範囲
- 1-2 施工計画書の作成と周知徹底
- 1-3 施工中の疑義
- 1-4 検 査

②安全対策

③せっこうボードの荷姿、運搬、保管

- 3-1 荷 姿
- 3-2 運 搬
- 3-3 保 管
- 3-4 残材処理、清掃

④SP-ガルスパンの荷姿、運搬、保管

- 4-1 荷 姿
- 4-2 運 搬
- 4-3 保 管
- 4-4 残材処理、清掃

⑤材 料

- 5-1 主構成材料
- 5-2 副構成材料

⑥施工要領

- 6-1 標準施工手順
- 6-2 施工要領

⑦検 査

- 7-1 自主検査
- 7-2 立会い検査

⑧認定書

防火構造

⑨水平断面図

① 総 則

1-1 適用範囲

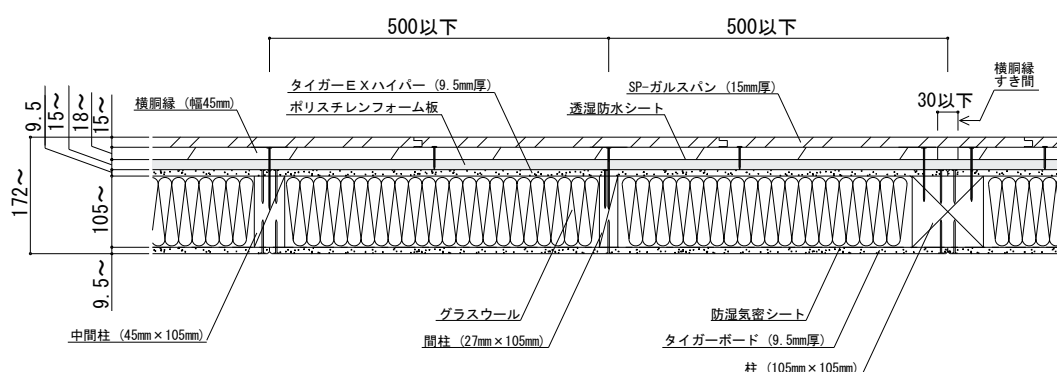
この施工仕様書は、木造軸組外壁 EXH-K15-PS付加 アイジー工業 金属サイディング仕様について適用する。

木造軸組外壁 EXH-K15-PS付加 アイジー工業 金属サイディング仕様

30分防火構造 国土交通大臣認定 PC030BE-3826 (1) (中空部にグラスウールを挿入しない場合)
PC030BE-3826 (3) (中空部にグラスウールを挿入する場合)

水平断面図

【中空部にグラスウールを挿入した場合の壁構造】



※本書の図面寸法値は、各部材の公称寸法を記載しております。

※SP-ガルスパンは縦張り、胴縁は横胴縁に限定となります。

※当壁構造は、胴縁の取り付けが必須となります。

※通気層での通気経路を確保するため、横胴縁には2,000mm以下の間隔で継目部にすき間を設けてください。すき間は柱位置とし、30mm以下となるようにしてください。

※防湿気密シートは、防火認定上必須ではありませんが、耐久性の観点から屋内側に防湿層が必要です。外被材なしのグラスウール（裸品）を使用する場合またはグラスウールを挿入しない場合には、原則、屋内側に防湿気密シートを使用してください。ただし、住宅性能表示制度の評価方法基準（平成13年国土交通省告示第1347号）第5の5の5-1（3）「ハ 結露の発生を防止する対策に関する基準」などにより防湿気密シートを省略できる要件を満たし、設計者または施工者が防湿気密シートを省略できると判断される場合はこの限りではありません。

※当壁構造は、屋内側タイガーボードの張り付けが必須となります。

1-2 施工計画書の作成と周知徹底

木造軸組外壁 EXH-K15-PS付加 アイジー工業 金属サイディング仕様の施工に際しては、この施工仕様書、吉野石膏（株）のEXハイパー耐力壁の施工仕様書およびアイジー工業（株）の「アイジーサイディング施工説明書 木造新築用」を基に現場毎に施工計画書を作成する。事前に説明会、その他の方法で、作業員全員に周知徹底を図る。

1-3 施工中の疑義

施工中、施工計画書に明記されていない事項、または疑義が生じた場合は、認定条件を確認の上、設計者・建築元請業者などと施工方法を検討する。

1-4 検査

施工業者は、工事が完了した時点で自主検査を実施した後、建築元請業者の監督員に報告し、検査を受ける。

② 安全対策

建築元請業者の安全方針に従って対策してください。

《タイガーボード類の注意》

- *指定の用途以外にご使用の場合は、十分に性能を発揮できない場合があります。
- *タイガーEXハイパーなどを施工する際の切断作業では集塵などに留意し、防塵カッターや集塵丸鋸を使用してください。また、サンディングなどの作業で発生する粉塵に対しては、防塵マスクや安全メガネを着用してください。
- *在庫の際、積層段数が多いと荷くずれの危険があります。
- *タイガーEXハイパーなどの廃材、洗浄排水の処理については、環境公害とならないようご注意ください。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などの法令に基づき適切に処理してください。

《SP-ガルスパンの注意》

- *指定の張り方向以外では使用しないでください。
- *現場加工時、鋼板の切断面に生じたバリは取り除いてください。怪我をするおそれがあります。
- *真夏の日射が強いときは、表面鋼板の温度が高くなり、火傷のおそれがありますのでご注意ください。
- *SP-ガルスパンを安全に使用・取り扱いをするため、安全データシート（SDS）を事前にご確認ください。
SDSは、アイジー工業（株）のホームページに掲載しております。

③ せっこうボードの荷姿、運搬、保管

3-1 荷姿

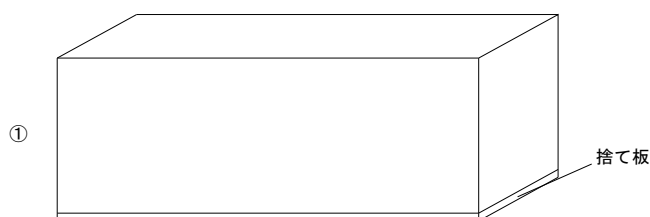
保管荷姿は、通常、タイガーEXハイパー（9.5mm）で120枚または100枚、タイガーボード（9.5mm）で160枚、タイガーボード（12.5mm）で120枚を1山としてある。

3-2 運搬

タイガーEXハイパーなどの搬入は、建築元請業者の監督員との打ち合わせにより、現場の搬入計画に基づいて行う。

3-3 保管

- （1）荷くずれ、角欠けがないように均等に置く。
- （2）傾斜面、墨出し部には置かない。
- （3）凸凹面や水漏れ部には置かない。上階から漏水の恐れがある場合や屋外の場合は、あらかじめシートなどでタイガーEXハイパーなどが濡れないように養生する。
- （4）タイガーEXハイパーなどの保管は、波打ち、そりがでないように下図のように、高さのそろった台上にボードの縁が台からはみ出ないようにすること。また、各山の一番上のボードは裏面を上面とすること。タイガーEXハイパーなどを屋外で保管する場合は、必ずパレット積みとすること。



- （5）2段積みなどを行う場合は、台木の位置を各段でそろえること。
- （6）タイガーEXハイパーなどを踏み台にしないこと。

3-4 残材処理、清掃

タイガーEXハイパーなどの切断加工などを行った作業場所は清掃する。タイガーEXハイパー、その他の残材は、あらかじめ決められた置き場を集積する。

④ SP-ガルスパンの荷姿、運搬、保管

4-1 荷姿

保管荷姿は、通常、SP-ガルスパン（15mm）で6枚を1ケースとしてある。

4-2 運搬

- （1）SP-ガルスパンの搬入は、建築元請業者の監督員との打ち合わせにより、現場の搬入計画に基づいて行う。
- （2）1ケースあるいは開梱した本体を手で持つ際には、小端立てにして運んでください。運搬に必要な人数は長さ6m未満は2人以上、6m以上は3人以上を目安にしてください。
- （3）ロープの締め付けが強すぎるとSP-ガルスパンの破損につながるおそれがありますので、過度の締め付けを避けるとともに角部には当て板を入れてください。
- （4）長尺品は現場の状況により配送できない場合がありますのでご注意ください。

4-3 保管

- （1）荷くずれがないように均等に置く。
- （2）傾斜面、墨出し部には置かない。
- （3）屋外に保管する際は、パレットあるいは、台木の上に合板を重ねた水平面に置き、さらに防水シートなどで覆ってください。
- （4）SP-ガルスパンの上に人が乗ったり重量物を載せたりしないでください。

4-4 残材処理、清掃

SP-ガルスパン、その他の残材は、あらかじめ決められている指定場所に毎日清掃し、集積しておく。

*SP-ガルスパンの荷姿、運搬、保管などの詳細はアイジー工業（株）の「アイジーサイディング施工説明書 木造新築用」に従ってください。

⑤ 材 料

5-1 主構成材料

5-1-1 屋外側被覆材

ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板 (GB-R)

商品名：タイガーEXハイパー (以下、EXハイパーと称する)

(1) 規格 準不燃QM-0954-1、JIS A 6901

(2) 寸法

厚 さ 9.5mm

大きさ(標準) 910mm×3,030mm

(3) 性能

比 重 0.8 ± 0.08

含水率 3%以下

5-1-2 内装材

1) せっこうボード (GB-R)

商品名：タイガーハイクリンボード、タイガーボード (以下、TBと称する)

(1) 規格 準不燃QM-9828、JIS A 6901

不 燃NM-8619、JIS A 6901

(2) 寸法

厚 さ 9.5, 12.5mm

大きさ(標準) 910mm×1,820、2,420mm

(3) 性能

比 重 $0.65 \sim 0.90$

含水率 3%以下

2) 化粧せっこうボード (GB-D)

商品名：タイガーハイクリンボード (アートタイプ) (以下、HCAと称する)

(1) 規格 準不燃QM-9824、JIS A 6901

不 燃NM-0128、JIS A 6901

(2) 寸法

厚 さ 9.5, 12.5mm

大きさ(標準) 910mm×1,820、2,420mm

(3) 性能

比 重 $0.70 \sim 0.90$ (QM-9824)

0.72 ± 0.072 (NM-0128)

含水率 3%以下

3) シーリングせっこうボード (GB-S)

商品名：タイガー防水ボード (以下、BTBと称する)

(1) 規格 準不燃QM-0898、JIS A 6901

(2) 寸法

厚 さ 9.5, 12.5mm

大きさ(標準) 910mm×1,820、2,420mm

(3) 性能

比 重 0.72±0.07

含水率 3%以下

4) シーリングせっこうボード (GB-S)

商品名：タイガー不燃防水ボード (以下、FBTBと称する)

(1) 規格 不燃NM-9639、JIS A 6901

(2) 寸法

厚 さ 12.5mm

大きさ(標準) 910mm×1,820mm

(3) 性能

比 重 0.70±0.07

含水率 3%以下

※内装材は、TB、HCA、BTBおよびFBTBが使用可能です。

5-1-3 外装材

金属サイディング

商品名：SP-ガルスパン

(1) 規格 準不燃QM-1041、不燃NM-5456 (表面側性能)

(2) 寸法

厚 さ 15mm

大きさ(標準) 396mm×3,000、4,000mm

※特注の長さも対応可能です。詳細は、アイジー工業 (株) の最新版の総合カタログをご確認ください。

※金属サイディング (SP-ガルスパン) は縦張り、胴縁は横胴縁に限定となります。

5-1-4 柱

JAS規格に適合する構造用集成材または構造用製材など

□-105mm以上×105mm以上

5-1-5 中間柱 (継手間柱)

JAS規格に適合する構造用集成材または構造用製材など

□-45mm以上×105mm以上

5-1-6 間柱

JAS規格に適合する構造用集成材または構造用製材など

□-27mm以上×105mm以上

5-1-7 外張り断熱材

ポリスチレンフォーム板

JIS A 9511またはJIS A 9521

密度40kg/m³以下、厚さ15～100mm

5-1-8 充てん断熱材（必要に応じて挿入する場合には下記のものを使用する）

グラスウール

JIS A 6301、JIS A 9504またはJIS A 9521

密度10kg/m³以上、厚さ12mm以上

5-2 副構成材料

5-2-1 受材（胴つなぎ）（必要に応じて使用する場合には下記のものを使用する）

JAS規格に適合する構造用製材または下地用製材など

□-27mm以上×27mm以上

※当防火認定では受材（胴つなぎ）は認定上必須ではありません。

5-2-2 胴縁

JAS規格に適合する構造用製材、造作用製材、下地用製材など

SP-ガルスパンの一般部 幅45mm以上×厚さ18mm以上

SP-ガルスパンの横目地部 幅90mm以上×厚さ18mm以上

※当壁構造は、胴縁の取り付けが必須となります。

※胴縁は横胴縁に限定となります。

5-2-3 透湿防水シート

JIS A 6111に規定する「透湿防水シート」厚さ1.0mm以下のもの。

5-2-4 防湿気密シート

JIS A 6930に規定する「住宅用プラスチック系防湿フィルム」など厚さ0.2mm以下のもの。

※外被材なしのグラスウール（裸品）を使用する場合またはグラスウールを挿入しない場合には防湿気密シートは原則使用してください。

※外被材付きのグラスウールを使用する場合には必要に応じて使用してください。

※当防火認定では防湿気密シートは認定上必須ではありませんが、耐久性の観点から屋内側に防湿層が必要です。ただし、住宅性能表示制度の評価方法基準（平成13年国土交通省告示第1347号）第5の5の5-1（3）「ハ 結露の発生を防止する対策に関する基準」などにより防湿気密シートを省略できる要件を満たし、設計者または施工者が防湿気密シートを省略できると判断される場合はこの限りではありません。

5-2-5 釘・タッピンねじ・ステーブルなど

NZ50

- (1) EXハイパーの留め付け用釘
- (2) TB、HCA、BTB、FBTBの留め付け用タッピンねじ
 - 9.5mm厚TB、HCA、BTBの留め付け用タッピンねじ $\phi 3.0\text{mm}$ 以上×25mm以上
 - 12.5mm厚TB、HCA、BTB、FBTBの留め付け用タッピンねじ $\phi 3.0\text{mm}$ 以上×28mm以上
- (3) 外張り断熱材（ポリスチレンフォーム板）の留め付け用タッピンねじ $\phi 2.6\text{mm}$ 以上×20mm以上
(外張り断熱材の留め付け用にはブチルゴムテープ、アクリルテープも使用可能)
- (4) 外張り断熱材（ポリスチレンフォーム板）の留め付け用釘 $\phi 1.4\text{mm}$ 以上×19mm以上
(外張り断熱材の留め付け用にはブチルゴムテープ、アクリルテープも使用可能)
- (5) 胴縁の留め付け用タッピンねじ $\phi 3.0\text{mm}$ 以上×65mm以上
- (6) 胴縁の留め付け用釘 N75以上、S75以上
- (7) SP-ガルスパンの留め付け用タッピンねじ：ステンレス製
 - <本体実部留め付け用> タッピンねじ $\phi 3.5\text{mm}$ 以上×32mm以上
 - <本体表面留め付け用> タッピンねじ $\phi 3.5\text{mm}$ 以上×40mm以上
- (8) SP-ガルスパンの留め付け用釘：ステンレス製
 - <本体実部留め付け用> スクリュー釘 $\phi 2.15\text{mm}$ 以上×38mm以上
 - <本体表面留め付け用> スクリュー釘 $\phi 2.4\text{mm}$ 以上×45mm以上
- (9) 受材（胴つなぎ）の留め付け用釘 2-N90（小口打ちの場合）
2-N75（斜め打ちの場合）
- (10) 透湿防水シートの留め付け用ステーブル 幅10mm以上×長さ10mm以上
(透湿防水シートの留め付け用にはブチルゴムテープ、アクリルテープまたはスプレーのりも使用可能)
- (11) 充てん断熱材（グラスウール）留め付け用ステーブル 幅10mm以上×長さ6mm以上
- (12) 防湿気密シートの留め付け用ステーブル 幅10mm以上×長さ6mm以上
- (13) 外張り断熱材（ポリスチレンフォーム板）の留め付け用両面テープ
ブチルゴムテープまたはアクリルテープ厚さ1.0mm以下×幅50mm以下
(外張り断熱材の留め付け用にはタッピンねじまたは釘も使用可能)
- (14) 透湿防水シートの留め付け用両面テープ
ブチルゴムテープまたはアクリルテープ厚さ1.0mm以下×幅50mm以下
(透湿防水シートの留め付け用にはステーブルまたはスプレーのりも使用可能)

5-2-6 SP-ガルスパン横目地部役物 (SP-ガルスパンの横目地部に下記のものを使用する。)

(1) 中間水切り

商品名：水切15S

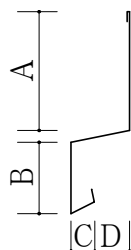
アイジー工業品番：MZ1-□□□

※「□□□」は色によって異なりますので、アイジー工業(株)の最新版の総合カタログをご確認ください。

材質：ガルバリウム鋼板

寸法および断面形状

厚さ0.35mm、A：55mm、B：30mm、C：10mm、D：15mm、長さ3,030mm



(2) スターター

商品名：縦用スターター15

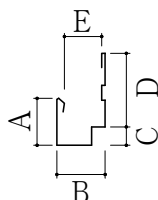
アイジー工業品番：ST12-□□□

※「□□□」は色によって異なりますので、アイジー工業(株)の最新版の総合カタログをご確認ください。

材質：ガルバリウム鋼板

寸法および断面形状

厚さ0.35mm、A：20mm、B：20.5mm、C：8mm、D：33mm、長さ3,030mm



5-2-7 スプレーのり

透湿防水シートの留め付け用スプレーのり

スチレンブタジエンゴム系接着材など

(透湿防水シートの留め付け用にはステープルも使用可能)

5-2-8 SP-ガルスパンの上下接合部の処理材 (必要に応じて処理する場合に下記のものを使用する)

(1) シーリング材

商品名：エコシーリング

アイジー工業品番：STR2-□□□

※「□□□」は色によって異なりますので、アイジー工業(株)の最新版の総合カタログをご確認ください。

材質：変成シリコーン系

(2) バックアップ材

商品名：パッキン材D

アイジー工業品番：CP5-000

材質：発泡ポリエチレン系

5-2-9 内装材継目部の処理材（必要に応じて継目処理などをする場合には下記のものを使用する）

(1) ジョイントコンパウンド（パテ）

「タイガーGLライト」、「タイガーFライト」、「タイガージョイントセメント」（吉野石膏製）など

(2) ジョイントテープ

「タイガージョイントテープ」、「タイガーGファイバーテープ」など

⑥ 施工要領

6-1 標準施工手順

6-1-1 屋外側

EXハイパーの張り付け



外張り断熱材（ポリスチレンフォーム板）の取り付け



土台水切の取り付け（防火認定上の構成材料に含まれません）※1



透湿防水シートの張り付け※1



胴縁の取り付け※1



SP-ガルスパンの張り付け※1



継目部その他の処理※1

※ 下地組は、吉野石膏（株）のEXハイパー耐力壁の施工仕様書に従ってください。

※1 アイジー工業（株）の「アイジーサイディング施工説明書 木造新築用」に従ってください。

6-1-2 屋内側

充てん断熱材（グラスウール）の取り付け
（必要に応じて挿入する場合に限る）



防湿気密シートの張り付け※1



内装材の張り付け



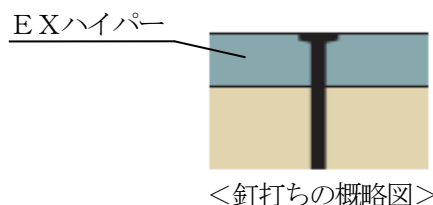
継目部その他の処理（防火認定上必須の処理ではありません）

※1 外被材なしのグラスウール（裸品）を使用する場合またはグラスウールを挿入しない場合には防湿気密シートは原則使用してください。

6-2 施工要領

6-2-1 EXハイパーの張り付け

- (1) 耐力壁にする場合、EXハイパー耐力壁の施工仕様書に従って張り付ける。
 - (2) 壁倍率を必要としない場合、釘(NZ50)の間隔は、76～200mmとする。
 - (3) 横目地を設ける場合は、土台と梁などの間の寸法3mあたり1本とする。
- ※釘頭がEXハイパー表面と面一になるように、自動釘打ち機のエア圧を調整し、試打後に釘打ちしてください。また、樹種毎にエア圧を調整してください。



- ※自動釘打ち機で打ち込み不足が生じた場合、ハンマーなどで釘頭がEXハイパー表面と面一になるように留め付けてください。
- ※EXハイパーは、仮留めの状態で放置せず、必ず所定の釘打ちを完了させてください。
- ※EXハイパーの釘での留め付けは、木下地(柱、間柱、中間柱など)を外さず、釘打ちしてください。木下地(柱、間柱、中間柱など)を外した場合、釘が貫通し反対側に飛び出す恐れがあります。必ず反対側に人がいないことを確認の上、施工してください。

6-2-2 外張り断熱材(ポリスチレンフォーム板)の取り付け

- (1) EXハイパーの上にポリスチレンフォーム板をタッピンねじ、くぎ、ブチルゴムテープなどを用いて取り付ける。
- (2) ポリスチレンフォーム板同士の目地部は、すき間のないように互いに突き付け張りとする。
- (3) ポリスチレンフォーム板同士の目地部は必要に応じて、気密テープなどで処理する。

6-2-3 土台水切の取り付け

土台水切を墨出しした外張り断熱材(補助桟)に取り付ける。

6-2-4 透湿防水シートの張り付け

- (1) 透湿防水シートは、横張りとし、下から上へ張る。
- (2) 透湿防水シートは、連続させてすき間が生じないように調整しながら、外張り断熱材にステープルまたは両面テープで留め付ける。ステープルの間隔は、縦方向では300mm以下、横方向では455mm以下とし、たるみ、シワとならないように留め付ける。両面テープの間隔は、縦または横方向に455mm以上で留め付ける。
- (3) 透湿防水シートの継目部の重ね代は、縦方向では90～200mm、横方向では150～200mmとする。横方向の重ね代は、外張り断熱材の目地と重ならないように横方向にステープル2本または両面テープで留め付ける。

6-2-5 胴縁の取り付け

- (1) 胴縁は、横胴縁とし、SP-ガルスパンの一般部は幅45mm以上、上下接合部は幅90mm以上を用いる。
- (2) 胴縁は、取り付け間隔を500mm以下とし、柱、間柱および中間柱の位置に釘などで500mm以下の間隔で留め付ける。

6-2-6 SP-ガルスパンの張り付け

- (1) SP-ガルスパンは縦張りとする。SP-ガルスパンは、釘などで水平方向396mm以下、鉛直方向500mm以下の間隔で胴縁に留め付ける。
- (2) 2枚目の実部（メス部）を1枚目の実部（オス部）に差込み、2枚目の実部（オス部）を釘などで胴縁に留め付ける。3枚目以降同様に胴縁に留め付ける。
- (3) SP-ガルスパンの横目地に水切15Sと縦用スターター15を取り付ける。水切15Sは、SP-ガルスパンとの重なり代を15mm以上確保する。また、縦用スターター15の下端と水切15Sの間には10mm以下のすき間を設ける。
- (4) 2段目以降は、(2)、(3)と同様に取り付ける。SP-ガルスパンの横目地の目透かし幅は、35mm以下とする。

※詳細はアイジー工業（株）の「アイジーサイディング施工説明書 木造新築用」をご確認ください。

6-2-7 SP-ガルスパン接合部などの処理

SP-ガルスパンの上下接合部は、アイジー工業（株）の「アイジーサイディング施工説明書 木造新築用」に従って処理する。

6-2-8 充てん断熱材（グラスウール）の取り付け（必要に応じて挿入する場合に限る）

- (1) 屋外側のEXハイパーを施工後、中空部にグラスウールを挿入する。外被材付きのグラスウールを用いる場合は耳部を柱、間柱および中間柱の屋内側の見付面にステープルで約200mmの間隔で留め付ける。
- (2) グラスウールは、柱、間柱および中間柱との間にすき間が生じないように充てんする。

6-2-9 防湿気密シートの張り付け

- (1) 防湿気密シートは、横張りとする。
- (2) 防湿気密シートは、連続させてすき間が生じないように調整しながら、柱などにステープルで留め付ける。ステープルの間隔は、シートの継目部および上下端部では200～300mm、その他の部位は、たるみ、シワとならないように3,000mm以下で留め付ける。
- (3) 防湿気密シートの継目部の重ね代は、30～200mmとする。

※外被材なしのグラスウール（裸品）を使用する場合またはグラスウールを挿入しない場合には防湿気密シートは原則使用してください。

※外被材付きのグラスウールを使用する場合には必要に応じて使用してください。

6-2-10 TB、HCA、BTB、FBTBの張り付け

- (1) TB、HCA、BTB、FBTBは、縦張りとする。
- (2) TB、HCA、BTB、FBTBは、柱、間柱、中間柱または受材などにタッピンねじで300mm以下の間隔で留め付ける。ただし、TB、HCA、BTB、FBTBの周辺部は必ず間柱以外の柱、中間柱または受材などに留め付ける。
- (3) ねじ頭は、TB、HCA、BTB、FBTBの表面より軽く凹ませる。
- (4) TB、HCA、BTB、FBTBの目地部は、互いに突き付け張りとする。
- (5) 横目地を設ける場合は、土台と梁などの間の寸法3mあたり1本とする。

6-2-11 TBなどの継目部などの処理（必要に応じて処理する場合に限る）

TBなどの継目部などは、ジョイントテープ「タイガージョイントテープ」、「タイガーGファイバーテープ」とジョイントコンパウンド（パテ）「タイガーGLライト」、「タイガーFライト」、「タイガージョイントセメント」などを用いて仕上げる。

6-2-12 屋内側仕上げ（必要に応じて処理する場合に限る）

ペイント、壁装材貼り、吹付けなどで仕上げる。

6-2-13 その他設計、施工上の留意点

- (1) 壁高および壁幅については、構造計算などにより構造安全性が確かめられた寸法としてください。
- (2) この「施工仕様書」は、認定書の中から推奨する材料を明記してあります。この「施工仕様書」に明記していない認定範囲の材料を用いる場合、認定番号PC030BE-3826(1)、PC030BE-3826(3)の認定書に記載してある材料に限定されます。
- (3) EXハイパーを耐力壁とする場合は、柱の寸法は105mm角以上、中間柱および間柱の見込み寸法は105mm以上となります。留め付け間隔、その他条件は、耐力壁の認定書に従ってください。
- (4) EXハイパーは、仮留めの状態で放置せず、必ず所定の釘打ちを完了させてください。
- (5) EXハイパーの施工後は、速やかに透湿防水シートを施工してください。
- (6) 雨天時の屋外側の施工は、避けてください。
- (7) 雨天後の屋外側の施工は、事前に施工完了箇所が十分に乾燥していることを確認してから行ってください。
- (8) 当壁構造に開口部を設置する際は、建築地域の条件に従ってください。
- (9) 当防火認定では、SP-ガルスパンは縦張り、胴縁は横胴縁に限定となります。
- (10) 当壁構造は、胴縁の取り付けが必須となります。
- (11) 通気層での通気経路を確保するため、横胴縁には2,000mm以下の間隔で継目部にすき間を設けてください。すき間は柱位置とし、30mm以下となるようにしてください。
- (12) 防蟻および防腐処理された胴縁を用いる場合は、施工中に雨水にさらされないよう、速やかにSP-ガルスパンを施工するか養生をしてください。
- (13) 防湿気密シートの張り付けは当防火認定上、必須ではありませんが、耐久性の観点から、屋内側に防湿層が必要です。外被材なしのグラスウール（裸品）を使用する場合またはグラスウールを挿入しない場合には、原則、屋内側に防湿気密シートの張り付けを行ってください。ただし、住宅性能表示制度の評価方法基準（平成13年国土交通省告示第1347号）第5の5の5-1(3)「ハ 結露の発生を防止する対策に関する基準」などにより防湿気密シートを省略できる要件を満たし、設計者または施工者が防湿気密シートを省略できると判断される場合はこの限りではありません。
- (14) 当壁構造は、屋内側TBの張り付けが必須となります。
- (15) 当壁構造での曲面壁の設計・施工はできません。

⑦ 検 査

7-1 自主検査

工 程	項 目	要 点	方 法	基 準	管理方式
下地の組み立て	柱 中間柱 間柱	間 隔	スケールなど	柱と間柱の間隔 500mm以下※1 中間柱と間柱の間隔 500mm以下※1 中間柱と柱の間隔または間柱を介する場合、中間柱相互の間隔 1,000mm以下※1	チェック検査
EXハイパーの張り付け	目 地	突き付け	目 視	突き付け張りで張っていること	
	釘	種 類	梱包表示など	NZ50	
		間 隔	スケールなど	200mm以下※1	
外張り断熱材の取り付け	ポリスチレンフォーム板	密 度	梱包表示など	40kg/m ³ 以下	
		厚 さ	梱包表示など	15～100mm	
	両面テープ	種 類	梱包表示など	ブチルゴムテープまたは アクリルテープ	
		厚 さ	スケールなど	1.0mm以下	
		幅	スケールなど	50mm以下	
	タッピンねじ	胴部径	梱包表示など	2.6mm以上	
		長 さ	スケールなど	20mm以上	
	釘	種 類	梱包表示など	1.4mm以上	
		間 隔	スケールなど	19mm以上	
透湿防水シートの張り付け	透湿防水シート	厚 さ	スケールなど	1.0mm以下	
	継 目	重ね代	スケールなど	縦方向90～200mm 横方向150～200mm	
	ステーブル	寸 法	スケールなど	幅10mm以上、長さ10mm以上	
	両面テープ	種 類	梱包表示など	ブチルゴムテープまたは アクリルテープ	
		厚 さ	スケールなど	1.0mm以下	
		幅	スケールなど	50mm以下	
		間 隔	スケールなど	455mm以上	
	状 態	シワ・たるみ	目 視	シワ・たるみがないこと	
胴縁の取り付け	胴 縁	厚 さ	スケールなど	18mm以上	
		幅	スケールなど	SP-ガルスパン一般部45mm以上 SP-ガルスパン上下接合部90mm以上	
	タッピンねじ	胴部径	梱包表示など	3.0mm以上	
		長 さ	スケールなど	65mm以上	
		間 隔	スケールなど	500mm以下	
	鉄丸釘	種 類	梱包表示など	N75以上	
		間 隔	スケールなど	500mm以下	
	ステンレス鋼釘	種 類	梱包表示など	S75以上	
		間 隔	スケールなど	500mm以下	

注)：上記表は防火構造の認定条件を満たす検査項目となります。施工監理上、必要な検査項目は別途、現場毎にご検討ください。

※1：EXハイパーを耐力壁とする場合、EXハイパー耐力壁の施工仕様書に従って施工してください。

木造軸組外壁 EXH-K15-PS付加
アイジー工業 金属サイディング仕様 施工仕様書

B-021-17

工 程		項 目	要 点	方 法	基 準	管理方式
SP-ガルスパンの張り付け	SP-ガルスパン本体実部留め付け用	タッピンねじ	胴部径	梱包表示など	3.5mm以上	チェック検査
			長 さ	スケールなど	32mm以上	
			間 隔	スケールなど	SP-ガルスパンの留め付け間隔： 鉛直方向500mm以下 水平方向396mm以下	
		スクリュー釘	胴部径	梱包表示など	2.15mm以上	
			長 さ	スケールなど	38mm以上	
			間 隔	スケールなど	SP-ガルスパンの留め付け間隔： 鉛直方向500mm以下 水平方向396mm以下	
	SP-ガルスパン本体表面留め付け用	タッピンねじ	胴部径	梱包表示など	3.5mm以上	
			長 さ	スケールなど	40mm以上	
			間 隔	スケールなど	SP-ガルスパンの留め付け間隔： 鉛直方向500mm以下	
		スクリュー釘	胴部径	梱包表示など	2.4mm以上	
			長 さ	スケールなど	45mm以上	
			間 隔	スケールなど	SP-ガルスパンの留め付け間隔： 鉛直方向500mm以下	
	役物 横目地接合部	横目地接合部 中間水切＋スターター	品 名・品 番	梱包表示など	水切15S アイジー工業品番： MZ1-□□□※2	
			品 名・品 番	梱包表示など	縦用スターター15 アイジー工業品番： ST12-□□□※2	
			すき間	スケールなど	縦用スターター15の下端と水切15Sのすき間：10mm以下	
			目透かし幅	スケールなど	SP-ガルスパンの横目地の目透かし幅：35mm以下	

注）：上記表は防火構造の認定条件を満たす検査項目となります。施工監理上、必要な検査項目は別途、現場毎にご検討ください。

※2：「□□□」は色によって異なりますので、アイジー工業（株）の最新版の総合カタログをご確認ください。

木造軸組外壁 EXH-K15-PS付加
アイジー工業 金属サイディング仕様 施工仕様書

B-021-18

工 程		項 目	要 点	方 法	基 準	管理方式
SP-ガルスパンの 張り付け	取 合 部 の 処 理 材	シーリング材	品 名 ・ 品 番	梱包表示など	エコシーリング アイジー工業品番： STR2-□□□ ※3	チェック検査
			充てん	目 視	すき間がないこと	
		バックアップ材	品 名 ・ 品 番	梱包表示	パッキン材D アイジー工業品番： CP5-000	
			仕 様	目 視	1段目のSP-ガルスパンの上端部に 貼り付けられていること	
充てん断熱材の 取り付け		グラスウール	密 度	梱包表示など	10kg/m ³ 以上	
			厚 さ	梱包表示など	12mm以上	
		挿 入	すき間	目 視	すき間がないこと	
		外被材	留め付け	目 視	ステーブルで留めてあること	
防湿気密シートの 張り付け (外被材なしの グラスウールを用いる 場合)		防湿気密シート	厚 さ	スケールなど	0.2mm以下	
		継 目	重ね代	スケールなど	30～200mm	
		ステーブル	寸 法	スケールなど	幅10mm以上、長さ6mm以上	
			間 隔	スケールなど	シートの継目部および上下端部 200～300mm その他の部位 3,000mm以下	
		状 態	シワ・たるみ	目 視	シワ・たるみがないこと	
		目 地	突き付け	目 視	突き付け張りで張っていること	
TBの張り付け		タッピンねじ	胴部径	梱包表示など	3.0mm以上	
			長さ	スケールなど	9.5mm厚の場合 25mm以上 12.5mm厚の場合 28mm以上	
			間 隔	スケールなど	300mm以下	

注)：上記表は防火構造の認定条件を満たす検査項目となります。施工監理上、必要な検査項目は別途、現場毎にご検討ください。

※3：「□□□」は色によって異なりますので、アイジー工業（株）の最新版の総合カタログをご確認ください。

7-2 立会い検査

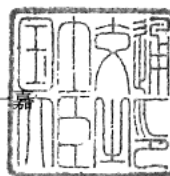
立会い検査は、建築元請業者の監督員の指示に基づいて行う。

認定書

国住指第3274号
令和2年2月10日

吉野石膏株式会社
代表取締役 須藤 永作 様
アイジー工業株式会社
代表取締役社長 若尾 直 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第八号並びに同法施行令第108条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各30分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-3826(1)
2. 認定をした構造方法等の名称
ポリイソシアヌレートフォーム裏張鋼板・ポリスチレンフォーム板・ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

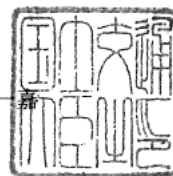
（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

認定書

国住指第3276号
令和2年2月10日

吉野石膏株式会社
代表取締役 須藤 永作 様
アイジー工業株式会社
代表取締役社長 若尾 直 様

国土交通大臣 赤羽



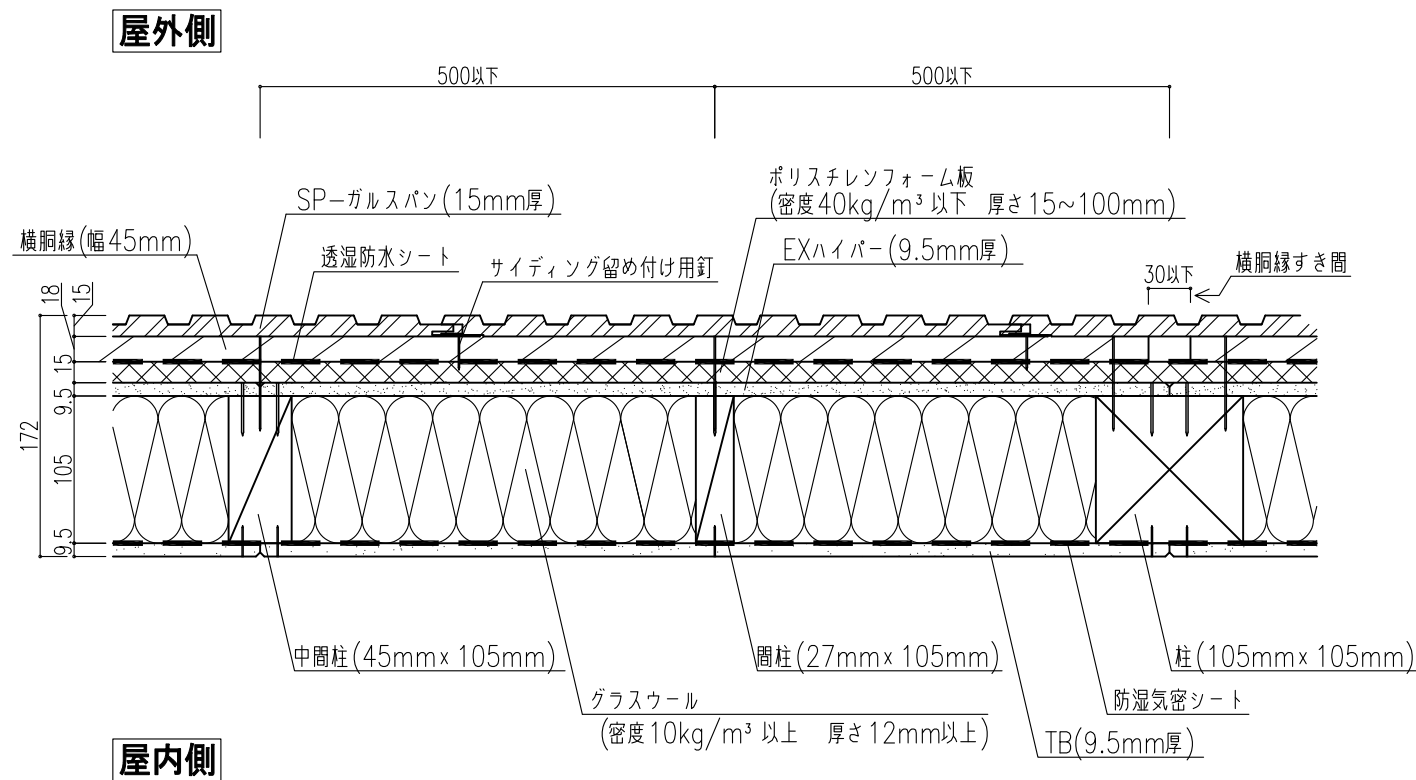
下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第八号並びに同法施行令第108条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各30分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-3826(3)
2. 認定をした構造方法等の名称
人造鉱物繊維断熱材充てん／ポリイソシアヌレートフォーム裏張鋼板・ポリスチレンフォーム板・ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

水平断面図



※SP-ガルスパンは縦張り、胴縁は横胴縁に限定となります。
※当壁構造は、胴縁の取り付けが必須となります。
※通気層での通気経路を確保するため、横胴縁には2,000mm以下の間隔で継目部にすき間を設けてください。すき間は柱位置とし、30mm以下となるようにしてください。
※防湿気密シートは防火認定上必須ではありませんが、耐久性の観点から屋内側に防湿層が必要です。外被材なしのグラスウール（裸品）を使用する場合またはグラスウールを挿入しない場合には、原則、屋内側に防湿気密シートを使用してください。ただし、住宅性能表示制度の評価方法基準（平成13年国土交通省告示第1347号）第5の5の5-1（3）「ハ 結露の発生を防止する対策に関する基準」などにより防湿気密シートを省略できる要件を満たし、設計者または施工者が防湿気密シートを省略できると判断される場合はこの限りではありません。
※当壁構造は、屋内側TBの張り付けが必須となります。
※胴縁、SP-ガルスパンの施工は、アイジー工業(株)の「アイジーサイディング施工説明書 木造新築用」に従ってください。

図面名 水平断面図